

市民参加型モビリティ・マネジメント「まち歩かんね、クルマ減らさんね運動」の立ち上げと今後の展望

コンサルタント国内事業本部 大阪支店 技術第一部 山口 晋弘 他

○キーワード

MM (モビリティ・マネジメント)、市民参加型、渋滞対策、中心市街地活性化、MM 実施主体の組織化

○概要

福岡都心部での交通渋滞等への対策として、市民参加型モビリティ・マネジメント「まち歩かんね、クルマ減らさんね運動」を立ち上げた。

立ち上げでは、行政、交通事業者、地域団体と計画段階から共に協議し、交通系 IC カードを使用した会員登録のシステムを構築した。

平成 27 年度の取り組みで約 570 名の会員を獲得し、次年度以降の取り組みに向け協議会を新たに発足した。

本稿では、本運動の立ち上げと今後の展望について報告を行っている。

○技術ポイント

「まち歩かんね、クルマ減らさんね運動」において、MM 実施主体の組織化を図るとともに、以下の点に工夫した仕組みを構築した。

- ① 交通系 IC カードを活用した会員制によるサポート体制の確保
- ② 一元的に情報配信を行う仕組みの構築
- ③ 参加する楽しさとともに継続参加を促す仕組みの構築

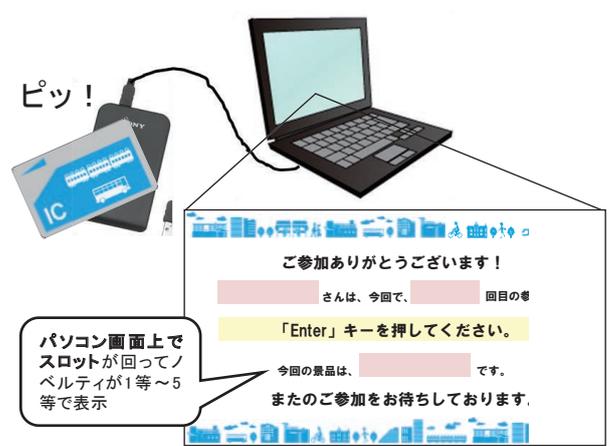
○図・表・写真等



①交通系ICカードを活用した会員制の導入(左)と会員に配布する会員証の作成(Zカード)(右)



②一元的に情報配信する仕組み(ホームページ、ポスター)



③参加する楽しさを提供する仕組み